



# [財]日本太鼓連盟

## NIPPON TAIKO FOUNDATION

発行・編集 2007年 1月

〒107-0052 東京都港区赤坂1-2-2 日本財団ビル5階

財団法人日本太鼓連盟 理事長 塩見 和子

Tel.03-6229-5577 Fax.03-6229-5580

URL:http://www.nippon-taiko.or.jp Email:info@nippon-taiko.or.jp

会報

## 年頭のごあいさつ



財団法人日本太鼓連盟  
会長 紀内 隆宏

新年、あけましておめでとうございます。

会員の皆様には穏やかな新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

昨年は、当連盟にとって海外公演の多い年でした。1月末から2月にかけてのチュニジア・モロッコ公演、10月のオーストラリア公演、さらに11月末から12月にかけてのラオス・ベトナム公演と3回の海外公演を実施いたしました。いずれの公演も盛況裡に終了し、各国の人々に日本太鼓の魅力、醍醐味を十分に感じ取っていただけたものと存じます。

一方、国内においては例年通り、当該支部の協力を得て所定の事業を実施いたしました。

3月には、長野県松本市において第8回ジュニアコンクールを開催、石川県の輪島・和太鼓 虎之介が優勝に輝き2年連続して石川県の代表が優勝を果たしました。また5月には、東京都港区において財団法人山階鳥類研究所の共催を得て第10回チャリティコンサートを開催、過去最高額の募金が集まりました。

9月には、福島県郡山市において第8回全国障害者大会を実施、全国から19チーム292名が参加、年々向上する演奏技術に会場につめかけた観客から多くの拍手が寄せられました。同じ9月に第10回全国フェスティバルを青森県七戸町で開催、全国から参加した優秀チームの高い演奏技術と地元合同チームの郷土色豊かな演奏に会場を埋めた観客から大きな拍手が寄せられました。

また、第3回目となりますシニアコンクールも新たに文部科学大臣賞が下付され、暮れも押し迫る12月24日、石川県白山市において開催いたしました。

さらに財団の事業の柱とも言うべき演奏技術の向

上と後継者の育成を図るための講習会も全国講習会が3回、支部講習会が5回と例年になく支部講習会が多く開催されました。5回とも北海道、東北地区での開催であり、今後の同地区での太鼓活動の広まりが期待されるところであります。

一方、全国講習会には、ブラジルからの留学生の参加や台湾からの参加もあり、国際的な広がりを見せた反面、近年講習会への参加者が減少傾向にあり、参加の呼びかけとともに今後の講習会の在り方について検討を加える必要性が感じられます。

ここ数年、重点事業として取り組んでいる教職員研修会は全国で6回開催、総勢228名が参加されました。学校の先生がこうして太鼓の研修会に参加されることは、今後少子化社会を迎え、子供数の減少が予想される中で子供達の太鼓活動への新規参加を促す大きなきっかけになるものと期待しております。

このような中、本年2007年は、財団設立10周年の節目を迎えることとなります。本年5月には設立時に発起人会、設立総会を開催した東京都品川区の船の科学館において記念の演奏会を実施する予定であります。

1997年の設立以来、日本財団及び太鼓関係者のご理解とご協力をいただき、現在37都道府県に41支部800チーム、23,000名の会員を擁する組織となりましたが、更に関係者のご協力を得て、早期に全都道府県に支部を設置し、会員の拡大を図りたいと考えております。

それとともに従来から実施している「全国フェスティバル」をはじめとする演奏会や「全国講習会」等の技術普及事業については、当該支部のご協力を得ながら内容を充実し進めて行きたいと考えております。これら事業の遂行には、会員の皆様のご理解とご協力が不可欠であり、支部・会員の皆様との連携、協調を図りながら事業運営に当たりたいと考えております。

最後に2007年が日本太鼓界と会員の皆様にとって良い年になるようご祈念申し上げます。新年のご挨拶といたします。

# 千葉で全国講習会、道南・道北で支部講習会を開催



(銚子はね太鼓の模範演奏)

## <第27回日本太鼓全国講習会(千葉)>

昨年11月18・19日(土日)、千葉県支部主管の全国講習会を、「のさかアリーナ」(千葉県匝瑳市)を中心に実施いたしました。地元千葉県をはじめ、全国23都府県、ブラジル、台湾から約130名が参加しました。

開講式は、財団を代表して塩見理事長、千葉県支部を代表して宮崎支部長からそれぞれ励ましと歓迎の挨拶があり、受講生たちは、気合十分に指導を受けていました。2日目は初冬を感じさせる雨模様となりましたが、受講生達は互いに励ましあい、温かい交流が生まれていました。また、公認指導員のための更新研修会も併せて行われ、全国から74名の公認指導員が参加しました。普段は指導側の皆さんも今回は受講する側として熱心に講義に聞き入り、初心に帰って気持ちを新たにしていました。



(元気にバチを振る受講生たち)

- 専門講座 講師
  - 銚子はね太鼓講座 宮崎 義政氏
  - 八丈太鼓講座 菊池 修氏
  - 秩父屋台囃子講座 高野 右吉氏
- 基本講座 講師
  - 総合指導 古屋 邦夫氏
  - 3級基本講座 松枝 明美氏
  - 4級基本講座 渡辺徳太郎氏
  - 5級基本講座 渡辺 洋一氏、鈴木 孝喜氏
- ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。
  - 1級検定 19名受験 3名認定(13名合格)
  - 2級検定 33名受験 5名認定(15名合格)
  - 3級検定 16名受験 14名認定
  - 4級検定 12名受験 12名認定
  - 5級検定 46名受験 46名認定

2007年1月現在の認定者数

	公認指導員	技術認定員
特	2	—
1	31	67
2	51	123
3	113	522
4	—	931
5	—	3,323
計	197	4,966
合計	5,163	

## 第3期公認指導員更新研修会

研修内容：

- 指導者としての心構え (講師 小口 大八氏)
- 太鼓界の現状と今後 (講師 中西 由郎氏)
- 太鼓による表現法 (講師 渡辺 洋一氏)
- 基本打法について(講習会見学)等 (講師 古屋 邦夫氏)

## <第30回日本太鼓支部講習会(道南)>

昨年10月21・22日(土日)、北海道道南支部主催による支部講習会が「だんパラサンパワー380」(北海道室蘭市)で行われ、5・3級基本講座に北海道内から29名が参加しました。開会式は、太田支部長の挨拶で始まり、2日間にわたる講習会がスタートしました。北海道で3級検定を行うのは初めてということもあり、受講生は緊張した面持ちでしたが、合格を手にした後は「次回は全国講習会で専門講座にチャレンジしたい」と新たな意気込みを見せていました。

- 基本講座 講師
  - 総合指導 古屋 邦夫氏
  - 3級基本講座 鈴木 孝喜氏
  - 5級基本講座 橋本 光司氏

◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

- 3級検定 19名受験 19名認定
- 5級検定 10名受験 10名認定



(開会式で挨拶する太田支部長)

## ＜第31回日本太鼓支部講習会(道北)＞

昨年11月11・12日(土日)、北海道道北支部主催による支部講習会が「永山市民交流センター」(北海道旭川市)で行われ、5・4級基本講座に北海道内から50名が参加しました。開会式は、稲垣支部長の挨拶で始まり、2日間にわたる講習会がスタートしました。2日目には早くも雪がちらついていましたが、受講生たちは寒さに負けず、元気いっぱいに指導を受けていました。道北では初の講習会であり、これで北海道内の講習会は本年度3度目となります。講習会後は「もっと北海道各地で講習会を開催してほしい」との意欲的な感想も聞かれました

### ○基本講座 講師

総合指導 古屋 邦夫氏

4級基本講座 鈴木 孝喜氏

5級基本講座 橋本 光司氏

### ◇技術認定員検定の結果は次のとおりです。

4級検定 11名受験 11名認定

5級検定 39名受験 39名認定



(開会式で挨拶する稲垣支部長)



(道北初の講習会の様子)

## 教職員太鼓研修会実施

岩手県支部主催により「教職員太鼓研修会」が実施され、多くの教職員の方々が参加されました。第3回目ということもあり、4級受講の先生方や指導講師の方もリラックスした雰囲気で見ました。岩手県支部では参加者確保のため、各教育委員会や学校に告知を行っていますが、最近では口コミでの広がりもあり、養護学校や保育園の先生方の参加も増えているとのことでした。

### 第3回岩手県教職員太鼓研修会

期 日：2006年11月26日(日)

場 所：水沢総合おろしセンター(岩手県水沢市)

指導者：5名(及川賢一、遠藤一子、三浦良一郎、藤原清美、小野寺安、佐々木清一)

参加者：45名(5級26名、4級18名、再受講者1名)

### ＜今後の教職員太鼓研修会＞

近日中に開催される教職員研修会の予定です。

期日・場所	事業名・申請団体
1月14日(日) 北海道岩見沢市	第3回北海道道西教職員太鼓研修会 北海道道西支部
1月21日(日) 青森県青森市	第2回青森県教職員太鼓研修会 青森県支部
2月11日(日) 山梨県 南アルプス市	第1回山梨県教職員太鼓研修会 山梨県支部

## 日本太鼓が関係団体に協力

### スポーツフェスタin大村

昨年10月1日(日)、長崎県・大村競艇場において「スポーツフェスタin大村」が開催されました。

これは、笹川スポーツ財団を始め、競艇関連スポーツ5団体により、近隣の親子を対象とした一般体験型のスポーツイベントです。当日は約1,800名のお客様が訪れ、水上スポーツコーナーなどを楽しみました。イベント広場では諫早肥前太鼓(長崎県)が演奏を行いました。演奏する曲目は全てメンバーによるオリジナル曲だという諫早肥前太鼓。計2回の見事な太鼓演奏を披露し、イベントを盛り上げていました。また演奏の間にはメンバーの指導により太鼓に触れる機会が設けられ、多くの親子が楽しいひとときを過ごしました。



(諫早肥前太鼓の演奏)

# 「オーストラリア日本太鼓公演」

## 日豪友好基本条約締結30周年を記念して



(日本の祭りinシドニーでの演奏)

2003年ハワード豪首相訪日の際に小泉前総理との間で、「日豪友好基本条約」締結30周年を記念する事業としてシドニーにおける交流年の主要交流事業が企画されました。当財団紀内会長を通じ、当財団に対し協力の要請があり、その結果昨年10月2日から16日にかけて、富岳太鼓(静岡県)をオーストラリアに派遣しました。オーストラリア各地(タウンズビル、ブリスベン、シドニー)で計7回の公演、2回のワークショップを行いました。オーストラリアには、初夏の花々があふれ豊かな自然が広がっており、野外デモンストレーションには多くの人々が集まるなど、フレンドリーな国民性が感じられました。

今事業最後にして最大の演奏は、10月14日タンパロンパークで催された「日本の祭りinシドニー」でした。公園内に日本の屋台が立ち並び、浴衣を着た子供も多く、まるで日本にいるかのような雰囲気を作り上げていました。炎天下での公演でしたが、時間を延長して計2回の演奏を行いました。

観客総動員数は、延べ34,000人以上。いずれの公演でも盛大な拍手によって迎えられました。太鼓の響きを通して両国の交流が深められ、日豪関係の発展に貢献することが出来ました。



(終演後、太鼓体験に集まった観客の皆さん)

現地の日本人向け新聞「NICHIGO PRESS」に活動模様が掲載！  
シドニー日本人会 富岳太鼓公演会を開催

～シドニー大日本語学生を中心に100人が参加～  
シドニー日本人会文化委員会は10月11日、(財)日本太鼓連盟所属の富岳太鼓公演会をシドニー大学で開催した。同大学で日本語を勉強する学生など約100人が参加した。同イベントは、(略)富岳太鼓の協力の下、日本の太鼓文化を豪州人に知ってもらうために実施した。(略)演奏終了後に行ったワークショップでは、メンバーが講師となり、参加者に太鼓の実演指導がなされた。慣れない手つきで叩く参加者たちも、講師の熱気に押され、会場内は一体的な雰囲気となった。

(「NICHIGO PRESS(2006年11月発行)」より抜粋)

### オーストラリア公演を終えて

富岳太鼓 勝間田千寿子

私は今回初めて海外での公演に参加させて頂きました。メンバーに選ばれてから不安がっぱいで、2週間という長い公演期間、自分はやっていくことができるのか悩んだこともありましたが、「大丈夫」と後押ししてくれたのは職場の方々そして、今回のメンバーの方々でした。多くの方々に支えられながらこの公演に参加させて頂き、いろいろなことを学ぶ良い機会となりました。タウンズビル、ブリスベン、シドニー、どの都市においても、公演が終わるたびに、たくさんの方々の拍手とお褒めの言葉を頂きオーストラリアの方々の心の温かさに触れることができました。またクイーンズランド大学とシドニー大学でのワークショップでは、世界各国から来ている学生の方々が、太鼓に興味を示してくれ、言葉は通じなくても一緒に楽しく交流することができました。日本太鼓の持つ、人を惹き付ける力を再認識させられました。その反面、私自身反省することもあり、すべての公演で自分の満足いく演奏ができなかったことが残念に思います。毎回見に来てくれるお客様は違うのだから、たとえ疲れていてもその時、その時に最高のパフォーマンスをしなければいけないのに、ミスがあったり、表情がうまく作れなかったり・・・演奏する前の心構え、準備の大切さをいつも以上に痛感することとなりました。それらが毎日行なわれた終礼での反省会で、自らメンバーに報告することによって、次の公演から修正されていったことは大変良かったと思います。反省することは多々ありましたが、それを今後の自分の課題とし、同じことを繰り返さないようにしていきます。今回このような素晴らしい機会を与えて下さいました。塩見理事長をはじめとする(財)日本太鼓連盟の方々から感謝申し上げます。そして2週間という長い間メンバーと過ごす事で、今まで以上の交流を図ることができました。良いコミュニケーションもとれ、今後の富岳太鼓の公演にもつなげていきたいと思えます。多くの人達との出会いの中で、一つ一つの気遣いや心遣いがとても温かく感じられ、一日一日を楽しくとても充実した日々を過ごすことができました。この経験を今後生かしていけるよう大きく成長していきたいと思えます。貴重な2週間を本当に有難うございました。

### <派遣メンバー>

富岳太鼓  
山内強嗣(代表)  
早野均  
五十嵐善一  
田中大輔  
勝間田千寿子  
渡邊恵子  
山内亜美  
(財)日本太鼓連盟  
中西由郎(常務理事)  
秋田稔(総務課長)  
黒木奈都子

# 「ラオス・ベトナム日本太鼓公演」 障害者に対する意識向上に大きな貢献！



(ホーチミン師範大学で演奏する甲州ろうあ太鼓)

昨年11月22日から12月5日にかけてラオス、ベトナム両国に、甲州ろうあ太鼓(山梨県)と龍・連山と和太鼓「龍」(山形県)を派遣しました。これは、日本財団が両国において障害者に対する意識改革と啓蒙活動を行う事業を実施することとなり、太鼓チームの派遣協力の要請を受け、実現したものです。ラオスで3公演、ベトナムで4公演と計7回の公演を実施しました。

中でも両国の情報文化省主催によるメイン公演には、満員の観客が集まりました。政府関係者を始め、日本財団からは笹川会長、尾形理事長、大野常務、更に競艇関係者も参加されました。国際音楽祭(ラオス)の冒頭で笹川会長がスピーチを行い、障害者への理解促進を求めました。カンボジア、タイなどから出演者が集い、終演後は出演者同士の交流も見られ、メンバーにとっても有意義な公演でありました。

その他各地での公演も大成功を収め、観客の皆様には大きな感動を与えることができました。両国とも真冬でありながら30℃を超える暑さが続きましたが、皆体調を崩すこともなく元気に帰国しました。

## 世界中の障害者と仲間作りをしたい！

甲州ろうあ太鼓 桜木 力

太鼓をとおして国際交流ができれば・・・と大きな夢を以前から持ち続けていました。その夢がこの度、実現したのです。発展途上にあるラオス、ベトナム両国における障害者に対する意識改革・啓蒙活動などを目的とする公演を、(財)日本太鼓連盟から私たちと龍・連山と和太鼓「龍」に要請されました。「同じ障害者として、私たちの活動が役立つのであれば喜んで協力したい」と、この要請をお受けすることにしました。11月22日から12月5日までの14日間、ラオス、ベトナムで、計7回の公演に出演させて頂きました。ラオス、ベトナムでは初めての出演で、不安と期待を抱きながら演奏に挑みました。しかし夢中で打っていると、抱いていた不安は何処かに吹き飛んでしまいました。素晴らしいステージに出演させて頂けた事とても幸せに感じています。今回の公演舞台裏は現地事情でしょうか、予定が変更、変更で大きく振り回されました。しかし会場を埋めた満席のお客さんからは、迫力ある太鼓の響きに酔いしれて、合いの手が入ったり途中で拍手がおきたりと大好評でした。

「聞こえなくてもやれば出来る！」という、障害を越えて習得した和太鼓がラオス、ベトナムの人たちの心に通じたこと、同じ舞台に出演したカンボジア、ラオス、ベトナムのろうあ者たちと会話が出来たこと等大変満足しています。打ち終わると、「すごい！素晴らしい！」と満員の客席はスタンディングオベーション状態。更に終演後は、大勢の観客に取り囲まれ携帯やデジカメで撮影されたり、サインを求められたり、花束を贈られたりと、国内では味わったことのない経験をしてきました。貴重な体験をさせていただきました日本財団、(財)日本太鼓連盟の皆様方に感謝申し上げます。



(ホーチミン市で野外演奏を行う龍・連山と和太鼓「龍」)

## ラオス、ベトナム公演を終えて

龍・連山と和太鼓「龍」 龍 連山

鼓道精尽28年、久しぶりの海外公演の依頼を受け、ラオス(ピエンチャン)、ベトナム(ホーチミン)にて、公演を行いました。日本から甲州ろうあ太鼓8名の皆様と、龍・連山と和太鼓「龍」6名が派遣され、(財)日本太鼓連盟より塩見理事長、大澤事務局長、印出係長の3名が同行されました。アジアのハンディキャップを持つ人達による初のフェスティバルを始め、世界障害者デーなどで公演を行いました。両国の公演では、笹川会長、尾形理事長、大野常務より慰労のご挨拶をいただき、アジア各国のハンディキャップを持つ皆様と共演を行いました。中でも太鼓が一番多くの拍手をいただくことができたと思っております。また大学やテーマパークでの公演でも観客のノリがとても良く、アジアの人々とのつながりを感じました。ハンディキャップを持つ皆様も非常に明るく強く生きていて、そのパワーに驚かされました。甲州ろうあ太鼓の皆様も頑張りも素晴らしく、一際大きな拍手と高い歓声が上がり、我々健常者ももっともっと太鼓も世の中も良くするよう頑張らないといけないと改めて痛感させられました。2週間という長丁場、10年前のラオスで会った大使館の中村職員との再会等なつかしい思いもありました。無事任務を果たせたのも塩見理事長を始め、皆様のおかげです。スケジュール調整等ご尽力をいただき、ありがとうございました。

おかげさまで当方龍一行も会員の皆様を代表して無事大役を果たせたことをご報告申し上げます。御礼とさせていただきます。

### <派遣メンバー>

甲州ろうあ太鼓  
桜木力(代表)、井上直光  
瀧口寛光、瀧口正浩  
山口龍太、狐塚亮  
杉山悠美  
小野智弘(マネージャー)  
龍・連山と和太鼓「龍」  
龍連山(代表)、龍寛  
庄司恒一郎、長田良太  
菊池恵理、矢作洋子  
**(財)日本太鼓連盟**  
塩見和子(理事長)  
大澤和彦(事務局長)  
印出公平(事業係長)

### 現地新聞「Vientiane Times」に公演模様が掲載！

太鼓の響きが障害を越える

先週金曜日(11月24日)、ラオス国立大学の生徒達が日本の太鼓に耳を傾けた。素晴らしく魅力的なこの音は、ラオス日本人材開発センターが主催した大学創立10周年の記念公演で、多くの学生を魅了した。(財)日本太鼓連盟所属の甲州ろうあ太鼓と、龍・連山と和太鼓「龍」が、障害者に対する啓蒙活動のための公演ツアーを行っており、今回はその一環である。「日本ではこういった演奏は大変な人気です。」と大澤事務局長は語る。「我々は様々な国で公演を行ってきました。ラオスでの公演後は、ベトナムへも向かいます。」(略)甲州ろうあ太鼓のメンバーはそれぞれ難聴を抱えている。そのため太鼓の音を合わせるのも難しい。週2回の練習を積み、技術を磨き曲目を増やしている。今では日本の優秀な障害者太鼓チームと賞賛されている。

(現地新聞「Vientiane Times(2006年11月29日付)」より一部抜粋・訳)

## 療育としての日本太鼓ー 1

今回より新シリーズが始まります。太鼓を通じての療育活動に携わる方々にご寄稿頂き、その取組みをご紹介します。第1回目は社会福祉法人富岳会の理事長であり、当財団の理事も務められている山内令子氏より、ご寄稿いただきました。山内理事長は当財団との係りも深く、30年前(財)日本太鼓連盟の前身「(財)日本国民音楽振興財団」から太鼓の供与を受けたことが、富岳会が太鼓を始めたきっかけとなっております。その後1998年に富岳会により「第1回全国障害者太鼓演奏会」が開催されました。やがて「是非とも数多くの障害者団体にも出演機会を」との声を頂き、それが後に当財団主催、富岳会共催の「日本太鼓全国障害者大会」となりました。30年以上前から、太鼓を取り入れた補助セラピーに取り組みされてきた道のりを振り返って頂きました。



社会福祉法人 富岳会  
理事長 山内 令子

太鼓を叩いて30年。昭和52年に和太鼓を用いた音楽療育を開始し今日まで実践を続けてきました。

和太鼓による療育の可能性に信念を持ち、また、それに応えてくれた利用者の方々の姿に支えられ、夢中で今日までやってきたというのが実感です。

30年間の実践活動を振り返りますと、和太鼓の活動が障害を持つ方々の生活をいかに生き生きとした自信のあるものにし、さまざまな困難を乗り越えていく力となってきたことか。また、数々の地域での公演や国内各地、海外での演奏活動を通してどれだけ多くの人々との交流を深められたことか。

利用者の方々と共に一途に太鼓を叩き続け、今、改めて思いますことは、どんなに重い障害を持っていても、私たちがあらゆる可能性に目を向け、努力を惜しまなければ、必ず潜在する能力を引き出し伸ばすことができるということです。

太鼓療育は、言語療法の発声から始め、呼吸器の有効活用、手、足の動きと脳の関係、身体の活性化、リズム感の養成などさまざまな療育効果を出してく

れます。

今、日本の伝統芸能である和太鼓を使った療育活動が注目されてきています。日本の太鼓には何かを変える不思議な魅力があるからではないでしょうか。

(財)日本太鼓連盟の塩見理事長様には大変深いご理解とご尽力を賜り、日本太鼓全国障害者大会も今年で9回目を迎えることができました。

障害を持たれている方も和太鼓を媒介として、地域の方々と交流を持つことができ、社会参加、社会自立へとつながっていきます。

今後も、障害者の方への療育活動を継続していくことにより、一人でも多くの方が主体性を持った生活ができ豊かな人生を送っていただければと心から願っております。



(富岳太鼓 竜神組)

## 事務局だより

### 日本太鼓助成金交付事業の追加募集の結果

11月17日(金)第27回運営委員会において、下記3事業を追加決定いたしました。事業完了報告書受理後、助成金20万円が交付されます。

開催期日	事業名	申請団体
2006年11月19・20日(日月)	米国太鼓講習会	サンフランシスコ太鼓道場
2006年12月3日(日)	ジュニアコンクール佐賀県大会	佐賀県支部
2007年1月14日(日)	教職員太鼓研修会	北海道道西支部

### 講習会のお知らせ

#### 第28回日本太鼓全国講習会（宮崎県宮崎市）

期 日： 2007年3月3・4日(土日)

主 催： (財)日本太鼓連盟

主 管： 全九州太鼓連合、(財)日本太鼓連盟宮崎県支部

会 場： 宮崎県総合青少年センター（宮崎県宮崎市大字熊野字藤兵衛中州）

講 座： 専門講座

三ツ打太鼓講座(複式単打法) 河合 睦夫氏(富山県)

縮太鼓講座(単式単打法) 渡辺 洋一氏(東京都)

源流太鼓講座(複式複打法) 長谷川 義氏(大分県)

基本講座

3級基本講座 安江 信寿氏(1級公認指導員)

4級基本講座 若山 雷門氏(1級公認指導員)

5級基本講座 松元 和敏氏(1級公認指導員)、景山 道隆氏(1級公認指導員)

申込先： (財)日本太鼓連盟宮崎県支部 〒889-2541 宮崎県日南市吾田東5-3-5

事務局 中津 洋二郎 Tel/Fax.0987-22-4693 携帯電話 090-1085-8361

#### 第32回日本太鼓支部講習会（愛知県幡豆郡）

期 日： 2007年2月17・18日(土日)

主 催： (財)日本太鼓連盟愛知県支部

会 場： グリーンホテル三ヶ根（愛知県幡豆郡幡豆町大字東幡豆入会山1-287）

講 座： 基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏（技術委員会委員長）

3級基本講座 安江 信寿氏（1級公認指導員）

4級基本講座 若山 雷門氏（1級公認指導員）

5級基本講座 松枝 明美氏（1級公認指導員）

申込先： (財)日本太鼓連盟愛知県支部 〒454-0964 愛知県名古屋市中川区富永2-73

事務局 安井 富 Tel/Fax.052-302-0554

#### 第33回日本太鼓支部講習会（東京都港区）

期 日： 2007年2月24・25日(土日)

主 催： (財)日本太鼓連盟東京都支部

会 場： 日本財団ビル（東京都港区赤坂1-2-2）

講 座： 基本講座

総合指導 古屋 邦夫氏（技術委員会委員長）

3級基本講座 松枝 明美氏（1級公認指導員）

4級基本講座 渡辺 徳太郎氏（1級公認指導員）

5級基本講座 渡辺 洋一氏（1級公認指導員）

申込先： (財)日本太鼓連盟東京都支部 〒177-0035 東京都練馬区南田中5-9-11-101

事務局 川名 真由美 Tel.03-3904-1745 Fax.03-3904-9434 携帯電話 090-4000-2713

\*新潟県支部講習会は本年度中止となりましたので、ご了承下さい。

## 2007年度の予定

### 全国講習会

2007年6月30日・7月1日(土日) みかぼみらい館(群馬県藤岡市)  
2007年11月17・18日(土日) 片平ふれあいセンター(福島県郡山市)  
2008年2月9・10日(土日) シーハットおおむら(長崎県大村市)

### 第11回日本太鼓全国フェスティバル

2007年9月27日(木) 東京国際フォーラムCホール(東京都千代田区)

### 第9回日本太鼓全国障害者大会

2007年10月7日(日) 御殿場市民会館(静岡県御殿場市)

チャリティコンサート、支部講習会については詳細が決まり次第お知らせいたします。

また本年は、(財)日本太鼓連盟設立10周年を記念して、記念事業の演奏会が船の科学館(東京都品川区)にて予定されております。

## ジュニアコンクール出場団体決定(32都道府県43チーム)

### 総務大臣杯・文部科学大臣賞 第9回日本太鼓ジュニアコンクール

名称：総務大臣杯・文部科学大臣賞 第9回日本太鼓ジュニアコンクール

期日：2007年3月25日(日) 開場10:30 開演11:00 終演予定19:00(リハーサルは前日)

会場：京都会館(京都府京都市左京区岡崎最勝寺町13)

入場料：前売券 2,000円 当日券2,500円

第9回大会は、各都道府県の支部予選(参加チーム319団体、出場者3,675名、観客数17,600名以上)で優勝したチーム等が一堂に会し、これまで以上の熱演が予想されます。出場者には、お互いを思いやり、礼節を重んじ、ジュニアらしく真摯で元気ある演奏を期待しております。

### 出場団体：

北見オホーツク太鼓「青虎天真」(道東)、厚別本陣はまなす太鼓(道央)、赤平火太鼓保存会(道西)、颯太鼓(道南)、藤原若潮太鼓(岩手)、利府太鼓(宮城)、大曲太鼓道場(秋田)、岩代國郡山うねめ太鼓保存会小若組(福島)、下館若囃太鼓会(茨城)、和太鼓キッズゆりかご(栃木)、上州榛東ふるさと太鼓(群馬)、乾武神流川太鼓(埼玉)、のさか太鼓(千葉)、大江戸助六流白鷗組高等部(東京)、相州海老名東柏太鼓(神奈川)、越中いさみ太鼓保存会白虎隊(富山)、大場瀧乃太鼓若鮎組・九谷太鼓若獅子組(石川)、県立山梨園芸高等学校すいれき太鼓部(山梨)、青木村義民太鼓保存会こまゆみ会(長野)、上石津もんでこ太鼓保存会少年部(岐阜)、はいばら太鼓保存会(静岡)、松平わ太鼓ジュニア(愛知)、四日市諏訪太鼓保存会共同地区子供諏訪太鼓(三重)、大和の響き「京」・いずみ太鼓「木の鼓」和太鼓「剣」本梅町西加舎子供太鼓和太鼓サークルホテル(京都)、金光藤蔭高等学校和太鼓部「鼓響」(大阪)、ドドンコクラブ(兵庫)、県立奈良工業高等学校和太鼓部「秋篠」(奈良)、掛合太鼓ジュニア(島根)、二丈絆太鼓(福岡)、不知火太鼓(佐賀)、おおむら太鼓連くじら太鼓(長崎)、人吉ねぶか太鼓・熊本市立必由館高等学校和太鼓部(熊本)、ゆふいん源流少年隊(大分)、橘太鼓「響座」ジュニア・串間くるみ太鼓(宮崎)、霧島九面太鼓 郷花・山川ツマベニ少年太鼓(鹿児島)(順不同)

\*今年度より参加規程が変更され、支部予選に20チーム以上が参加した場合(同一団体から複数参加した場合は1チームとみなす)は、2チームが全国大会に出場できることとなりました。これにより石川、熊本、宮崎、鹿児島等の4支部からは2チームが参加します。なお、大会開催地の京都支部は、これまでと同様5チームが参加します。また、残念ながら今回不参加の支部は、道北、青森、新潟、福井、広島、鳥取の6支部です。

特別出演：輪島和太鼓 虎之介(石川・第8回日本太鼓ジュニアコンクール優勝チーム)、

一心太鼓(2006年度第3回全ブラジル太鼓選手権大会優勝チーム)ほか